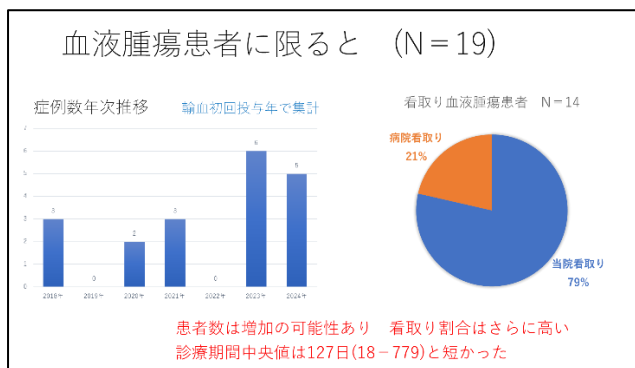
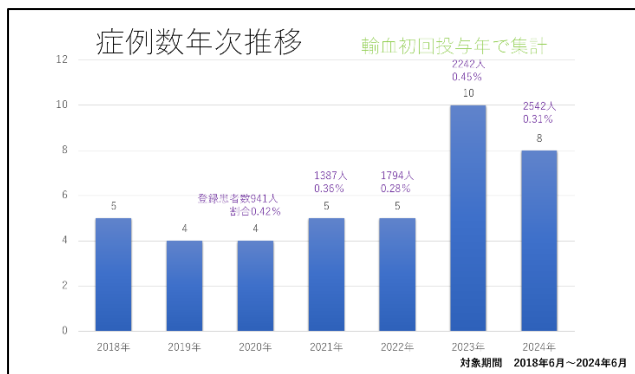




- 【考察 / まとめ】
- ・ 輸血症例は増加している可能性がある
⇒ 血液腫瘍患者増加を背景に、積極的に当法人が在宅輸血を行っていることが周知されてきている可能性がある。
 - ・ 血液腫瘍症例が多く最期まで診療を行う割合が高い
⇒ 輸血時は最低でも30分間は付き添い普段の訪問診療よりも密に関わることができる。期間は短くとも看取りまで行えることは有意義で満足度につながり、我々は使命感や達成感を感じることができる。
 - ・ ほとんどの輸血は必要最低限行われている
⇒ ただし、Hb9-10前後で数例輸血施行があり有資源である血液製剤が適切に投与されているか常に確認は必要と考える。
＊ 同様の考えに基づくMDS疑い症例も確定診断をする努力は求められる。
⇒ そのため、血液内科医が監修する仕組みをつくる必要がある
 - ・ 在宅輸血によって恩恵が受けられる患者を増やすことは重要である
⇒ 院内で学びの機会を創出し、得られた経験や知識を情報発信することが求められる

- 【結語】
- ・ 当法人の在宅輸血療法の現状が把握できた
 - ・ 輸血療法を行い看取りまで行う症例が多いことは意義深いと考える
 - ・ 在宅輸血療法のハードルを下げるための知識 / 技術の獲得と情報発信が必要と考える

② 「訪問診療・看護からの在宅での輸血療法とその実際」

訪問看護ステーション つなぐ 代表取締役
溝口 喬也

訪問診療・看護からの在宅での輸血療法とその実際

DATE 2025/3/13

NAME 溝口 喬也



演題名

訪問看護からの輸血療法とその役割



在宅での輸血療法

在宅での輸血は出来ると思いますか？

A. 出来ます。
ただ、在宅で行える一番難しい治療だと思います。



在宅医療とは

医師や看護師などの専門職が**自宅を訪問**し、療養や介護を行う医療サービス。通院が困難な患者や、**住み慣れた自宅**で療養を希望する患者が対象。

【特徴】

- ・患者の**意思を尊重**した医療で、通院の負担を減らせる。
- ・状態に応じて**24時間体制**で治療やケアにあたる場合もある。
- ・各専門職がチームを組み、連携して自宅に定期的に訪問する。

【種類】

- ・訪問診療：医師が定期的に訪問して診療や経過観察を行う。
- ・住診：患者からの**要請**で医師や看護師が駆けつける。
- ・訪問看護：看護師が訪問してケアを行う。
- ・訪問Rn：理学療法士や作業療法士が行うリハビリテーション

事例紹介

S氏 男性 70代

- ・保険病名：急性骨髄性白血病末期（AML） 亜鉛欠乏症
- ・ADL：自立。独歩（ふらつき有）。
- ・認知：年相応。こだわり強い。
- ・キーパーソン：絶縁中。急変時は区役所保護課対応。
- ・主訴：倦怠感

【現病歴】

2018年、近医にて骨髄異形成症候群と診断されていたが治療をドロップアウト。2023年12月頃より度々発熱性好中球減少症発症。その後、骨髄検査にてAMLと診断。積極的治療を望まずご自宅で**赤血球輸血**を行いながら緩和的治療となる。本人希望もあり在宅医療が開始される。



在宅での輸血療法

今までの輸血療法は環境整備された**病室**で行われ、関わる者すべてが緊張感をもって実施されていました。

しかし、現在患者様の取り巻く環境は大きく変わり、**希望**に応じて病院以外での治療を行えるようになりました。**輸血療法**も前項のとおり在宅医療として各事業所と家族で協力し合い行えます。

今回、訪問診療と訪問看護での経験から、輸血療法の必要性和その実際、患者様の前後での変化をお伝えしていきます。なお、訪問診療での輸血導入から発注、ルート確保・実施、急性期での観察。訪問看護への引継ぎ、終了までのコミュニケーション、その後の体調変化までをお伝えします。



事例紹介（訪問看護との関わり）

【経過】

2023年12月より訪問開始。

警戒心強く易怒性あり。

スタッフによっては高圧的な態度をしめしていた。

倦怠感や症状が悪化すると勢いとはなくなり看護師とのコミュニケーションは交わっていた。

検査結果にて2週に1回のペースでRCC2単位行っていたが、

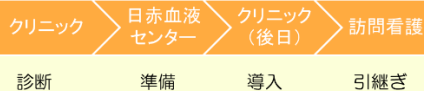
4月には原疾患の悪化と思われる貧血あり、**3週連続**で輸血を行うこともあった。

7月には症状寛解し輸血療法は一旦終了となる。

その後は週2回の訪問となり今日に至る。



輸血療法導入までの流れ



【クリニック】

診察にて治療方針を決定し血液製剤を**発注**。
後日、製剤受け取り診察し導入する。
ルート確保と**重篤な副作用**の観察を行う。所要時間40分

【訪問看護】

事前にクリニックと情報共有。
輸血導入時にスケジュール合わせ訪問する。
クリニックより**引継ぎ終了まで**観察する。
所要時間**90～150分**



事例紹介（つなぐの関わり）

【12か月の関わりでの変化】

12月 警戒心丸出し。ケアや治療に協力得られず。

1月 依然警戒心丸出し。スタッフを固定して訪問。

2月 一部会話が始まる。しかし正直、ケアは流れ作業。

3月 信頼関係築けず。撤回も視野に入れる。

4月 症状増悪。集中的に輸血実施。感謝の意を言い始める。

5月 一部スタッフと信頼関係構築。趣味はパズルと。

6月 スタッフの固定を解除。徐々に会話が弾み出す。

7月 良好な関係になっていく。

8月 誕生日にパズルをプレゼント。全スタッフと打ち解ける。

9月 一緒に外出を希望される。

10月 今まで拒否していた別サービス（介護）を受け入れる。

現在は複数のスタッフとも良好な関係。



まとめ

S氏は定期的に輸血をおこなうことで現在も住み慣れたご自宅で過ごすことが出来ている。
看護師との関係も日ごとに良い方向に向かい、現在では趣味のバスルを通して会話もよく行っている。

ただ、彼のキャラクターやコンプライアンスの具合を見ると入院での治療は多方面でのトラブルも起きていたと思われる。その後は、治療に対してドロップアウトしていく恐れも考えられる。

在宅医療において輸血療法は、高度な治療であると思います。時には高いハードルと思うこともあるでしょう。ですが、患者の高いQOLの実現には不可欠で重要なことと感じている。



The illustration at the bottom of the page features a group of ten stylized cartoon characters, including men, women, and children of various ages, standing together. To the left of this group is a small graphic of two rice balls (dango) on a green base. To the right of the family group is a photograph of a medical monitor displaying a bright, sun-like image over a green landscape. Further to the right is a photograph of a bulletin board with several small photos pinned to it, including one of a person in a white coat.

在宅輸血研修会報告

福岡県合同輸血療法委員会
福岡大学病院
辻 雄大

まとめ②（事業所の負荷について）

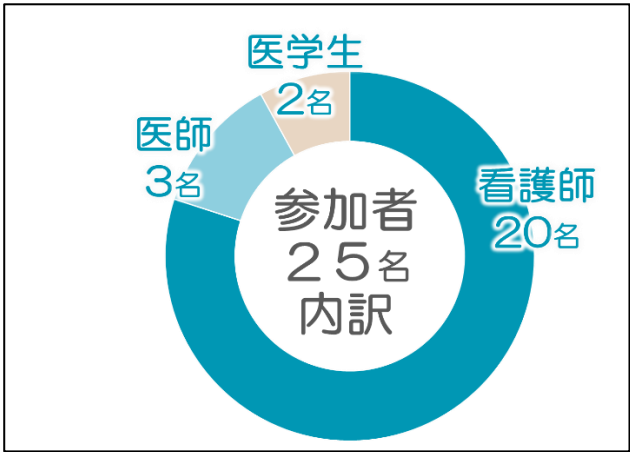
課題はあります。

- ① 訪問時間（90分～150分）
- ② 得られる報酬（介護保険:8806円or医療保険:8550円）
- ③ 現場スタッフの手技とストレス（プライスレス）

正直、現在の保険制度活用では費用対効果は良い状態とは言えません。

社会的使命で活動していますが、単体の事業所で輸血件数は多くは受けれないのではと正直思っています。

二宮尊徳（金次郎）
「道徳なき経済は罪悪であり 経済なき道徳は寝言である」



まとめ②（事業所の負担について）

【介護保険報酬】

事業項目	1年	2年	3年4年	5年
2015年度	115件	364件		+1
2016年度	472件		473件	+1
2017年度	621件	621件		+2
2018年度	1,123件	1,123件		+3
2019年度	200件	200件		+1
2020年度	267件	266件		+1
2021年度	356件	350件		+1
2022年度	572件	574件		+1
2023年度	642件	644件		+2
2024年度	2,198件	2,198件		+7

【訪問看護】

事業項目	1年	2年	3年4年	5年
2015年度	115件	364件		+1
2016年度	472件		473件	+1
2017年度	621件	621件		+2
2018年度	1,123件	1,123件		+3
2019年度	200件	200件		+1
2020年度	267件	266件		+1
2021年度	356件	350件		+1
2022年度	572件	574件		+1
2023年度	642件	644件		+2
2024年度	2,198件	2,198件		+7



輸血療法とは

1) 目的
輸血療法は主目的は血液中の血球数などの細胞成分や凝固因子などの血漿成分が、**20%減少した状態を継続的に低下したとき**にその成分を補充することによって患者の病状を改善すること

血漿を健康者のひとこととして移植すれば
病も健康に行われていり **臓器移植** であると考ええる。

赤血球液：RBC

臓器の代謝
循環血液量の維持
保存：
 冷蔵保存液温度 2〜6℃
 30日以上保存は出来ない
 0時間以内使用

薬価：2単位 1,813.12円
有効期限：採血後 28日間



輸血療法とは、患者の血液に
健康者の血液を150cc以上、補充する治療法のこと

実施

③ 輸血中・終了後の観察

- ① 輸血開始後5分間の観察 1分、5分、15分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間、7時間、8時間、9時間、10時間、11時間、12時間、13時間、14時間、15時間、16時間、17時間、18時間、19時間、20時間、21時間、22時間、23時間、24時間、25時間、26時間、27時間、28時間、29時間、30時間、31時間、32時間、33時間、34時間、35時間、36時間、37時間、38時間、39時間、40時間、41時間、42時間、43時間、44時間、45時間、46時間、47時間、48時間、49時間、50時間、51時間、52時間、53時間、54時間、55時間、56時間、57時間、58時間、59時間、60時間、61時間、62時間、63時間、64時間、65時間、66時間、67時間、68時間、69時間、70時間、71時間、72時間、73時間、74時間、75時間、76時間、77時間、78時間、79時間、80時間、81時間、82時間、83時間、84時間、85時間、86時間、87時間、88時間、89時間、90時間、91時間、92時間、93時間、94時間、95時間、96時間、97時間、98時間、99時間、100時間、101時間、102時間、103時間、104時間、105時間、106時間、107時間、108時間、109時間、110時間、111時間、112時間、113時間、114時間、115時間、116時間、117時間、118時間、119時間、120時間、121時間、122時間、123時間、124時間、125時間、126時間、127時間、128時間、129時間、130時間、131時間、132時間、133時間、134時間、135時間、136時間、137時間、138時間、139時間、140時間、141時間、142時間、143時間、144時間、145時間、146時間、147時間、148時間、149時間、150時間、151時間、152時間、153時間、154時間、155時間、156時間、157時間、158時間、159時間、160時間、161時間、162時間、163時間、164時間、165時間、166時間、167時間、168時間、169時間、170時間、171時間、172時間、173時間、174時間、175時間、176時間、177時間、178時間、179時間、180時間、181時間、182時間、183時間、184時間、185時間、186時間、187時間、188時間、189時間、190時間、191時間、192時間、193時間、194時間、195時間、196時間、197時間、198時間、199時間、200時間、201時間、202時間、203時間、204時間、205時間、206時間、207時間、208時間、209時間、210時間、211時間、212時間、213時間、214時間、215時間、216時間、217時間、218時間、219時間、220時間、221時間、222時間、223時間、224時間、225時間、226時間、227時間、228時間、229時間、230時間、231時間、232時間、233時間、234時間、235時間、236時間、237時間、238時間、239時間、240時間、241時間、242時間、243時間、244時間、245時間、246時間、247時間、248時間、249時間、250時間、251時間、252時間、253時間、254時間、255時間、256時間、257時間、258時間、259時間、260時間、261時間、262時間、263時間、264時間、265時間、266時間、267時間、268時間、269時間、270時間、271時間、272時間、273時間、274時間、275時間、276時間、277時間、278時間、279時間、280時間、281時間、282時間、283時間、284時間、285時間、286時間、287時間、288時間、289時間、290時間、291時間、292時間、293時間、294時間、295時間、296時間、297時間、298時間、299時間、300時間、301時間、302時間、303時間、304時間、305時間、306時間、307時間、308時間、309時間、310時間、311時間、312時間、313時間、314時間、315時間、316時間、317時間、318時間、319時間、320時間、321時間、322時間、323時間、324時間、325時間、326時間、327時間、328時間、329時間、330時間、331時間、332時間、333時間、334時間、335時間、336時間、337時間、338時間、339時間、340時間、341時間、342時間、343時間、344時間、345時間、346時間、347時間、348時間、349時間、350時間、351時間、352時間、353時間、354時間、355時間、356時間、357時間、358時間、359時間、360時間、361時間、362時間、363時間、364時間、365時間、366時間、367時間、368時間、369時間、370時間、371時間、372時間、373時間、374時間、375時間、376時間、377時間、378時間、379時間、380時間、381時間、382時間、383時間、384時間、385時間、386時間、387時間、388時間、389時間、390時間、391時間、392時間、393時間、394時間、395時間、396時間、397時間、398時間、399時間、400時間、401時間、402時間、403時間、404時間、405時間、406時間、407時間、408時間、409時間、410時間、411時間、412時間、413時間、414時間、415時間、416時間、417時間、418時間、419時間、420時間、421時間、422時間、423時間、424時間、425時間、426時間、427時間、428時間、429時間、430時間、431時間、432時間、433時間、434時間、435時間、436時間、437時間、438時間、439時間、440時間、441時間、442時間、443時間、444時間、445時間、446時間、447時間、448時間、449時間、450時間、451時間、452時間、453時間、454時間、455時間、456時間、457時間、458時間、459時間、460時間、461時間、462時間、463時間、464時間、465時間、466時間、467時間、468時間、469時間、470時間、471時間、472時間、473時間、474時間、475時間、476時間、477時間、478時間、479時間、480時間、481時間、482時間、483時間、484時間、485時間、486時間、487時間、488時間、489時間、490時間、491時間、492時間、493時間、494時間、495時間、496時間、497時間、498時間、499時間、500時間、501時間、502時間、503時間、504時間、505時間、506時間、507時間、508時間、509時間、510時間、511時間、512時間、513時間、514時間、515時間、516時間、517時間、518時間、519時間、520時間、521時間、522時間、523時間、524時間、525時間、526時間、527時間、528時間、529時間、530時間、531時間、532時間、533時間、534時間、535時間、536時間、537時間、538時間、539時間、540時間、541時間、542時間、543時間、544時間、545時間、546時間、547時間、548時間、549時間、550時間、551時間、552時間、553時間、554時間、555時間、556時間、557時間、558時間、559時間、560時間、561時間、562時間、563時間、564時間、565時間、566時間、567時間、568時間、569時間、570時間、571時間、572時間、573時間、574時間、575時間、576時間、577時間、578時間、579時間、580時間、581時間、582時間、583時間、584時間、585時間、586時間、587時間、588時間、589時間、590時間、591時間、592時間、593時間、594時間、595時間、596時間、597時間、598時間、599時間、600時間、601時間、602時間、603時間、604時間、605時間、606時間、607時間、608時間、609時間、610時間、611時間、612時間、613時間、614時間、615時間、616時間、617時間、618時間、619時間、620時間、621時間、622時間、623時間、624時間、625時間、626時間、627時間、628時間、629時間、630時間、631時間、632時間、633時間、634時間、635時間、636時間、637時間、638時間、639時間、640時間、641時間、642時間、643時間、644時間、645時間、646時間、647時間、648時間、649時間、650時間、651時間、652時間、653時間、654時間、655時間、656時間、657時間、658時間、659時間、660時間、661時間、662時間、663時間、664時間、665時間、666時間、667時間、668時間、669時間、670時間、671時間、672時間、673時間、674時間、675時間、676時間、677時間、678時間、679時間、680時間、681時間、682時間、683時間、684時間、685時間、686時間、687時間、688時間、689時間、690時間、691時間、692時間、693時間、694時間、695時間、696時間、697時間、698時間、699時間、700時間、701時間、702時間、703時間、704時間、705時間、706時間、707時間、708時間、709時間、710時間、711時間、712時間、713時間、714時間、715時間、716時間、717時間、718時間、719時間、720時間、721時間、722時間、723時間、724時間、725時間、726時間、727時間、728時間、729時間、730時間、731時間、732時間、733時間、734時間、735時間、736時間、737時間、738時間、739時間、740時間、741時間、